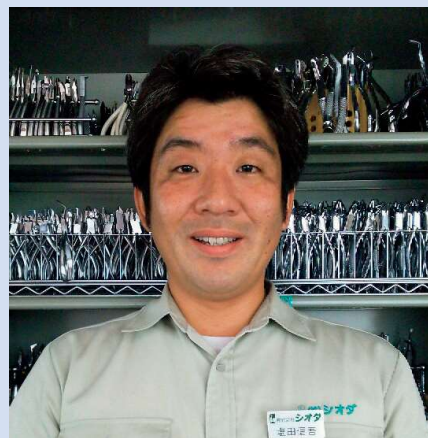


最新設備よる効率化と伝統職人技の活用 歯科医師の要望を反映させた一貫生産体制

歯科用プライヤー・インプラント用器具をはじめとした医療機器の製造販売を行う。

日本で唯一、素材の鍛造から一貫生産を行い、歯科用鉗子、プライヤー類は、国内2位のシェア。設計・開発から携わることで、歯科医師等の多岐で細部にわたる要望を製品に反映させることを可能とした。今後もオンリーワンの医療器具提供を通じて、「患者様に選ばれる器具づくり」を目指している。医療機器製造販売業の許可並びに医療機器の国際規格ISO13485を取得。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 栃木県那須烏山市東原53 | ● 設立 | 1954年 |
| ● 電話/FAX | 0287-88-2288/0287-88-2291 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.shiodadental.com/index.html | ● 従業員数 | 50人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 塩田 信吾 | | |



生産性向上

最新設備導入による効率化・コストダウンと高精度加工の実現

プライヤーの製作工程にて、ものづくり補助金で導入したマシニングセンタと独自に開発した専用加工ジグを用い検証と試作加工を重ねた結果、1人当たり日産2.4倍の加工が可能となった。作業調整時間を短縮すると共に、加工精度の向上による検査時間の短縮も図れ、結果的に生産性の向上によるコストダウンを実現。歯科インプラント用インスツルメントでは、これまで培った技術力に加え最新のNC自動旋盤の導入により、高精度・高機能の要求に応えられる精度の高い品質を実現。



マシニングセンター、NC旋盤

熟練工を活用し、試作開発や、メーカー研修・技術承継を実施

熟練工の技術力を活かし、様々な試作開発に取り組み、製品バリエーション増加。歯科用に止まらず医科用医療機器の分野にも進出。また、最新設備の操作習得のためメーカー研修への派遣や既存製品の加工データのマニュアル化など、若手社員向けの教育も実施。元来の職人による手加工技術を若手作業員へ継承することで、そのアナログとハイテクなデジタル加工双方の技術向上による相乗効果をもたらしている。



若手社員に受け継がれる熟練工の技術

設計・開発からの一貫生産で、オンリーワンの医療機器の提供

歯科用鉗子、プライヤー類における国内で唯一、素材の鍛造から生産している。歯科医師からの多岐で細かい要望に応えるために、設計・開発から製造に至るまで一貫した生産体制を持っていることが大きな優位点になっている。歯科医師のアイデアを形にし、オリジナルの医療器具を提供することを可能としている。これまでの医療現場を知り尽くした経験と高い技術力を活かし、国内の治療現場で使い易い日本人の手に合った製品を提供している。生産量・製品形状増により、海外の安価な輸入製品との差別化を実現している。



製造した歯科用プライヤー

ものづくり